

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2370301315		
法人名	北医療生活協同組合		
事業所名	生協あじまの家グループホーム		
所在地	名古屋市北区中味鏡3丁目807番地		
自己評価作成日	平成23年9月3日	評価結果市町村受理日	平成24年2月27日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 ケア・ウィル		
所在地	愛知県名古屋市中村区椿町21-2 第2太閤ビルディング9階		
訪問調査日	平成23年11月14日	評価確定日	平成23年12月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりの思い・気持ちを大切に、寄り添い、優しい介護に取り組んでいます。医療や地域と密着し、安心して生活できるグループホーム

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体が北医療生活協同組合であり、医療との連携が密に図られ入居者を始め、家族、職員の安心に繋がっている。この1年間で職員の異動もあり、職員の体制を整えることに力を入れている。よりよいケアの提供を目指し、法人内の各種委員会活動に職員が参加したり、職員の働きやすい職場環境をつくるため、職員の意見を反映させる等、態勢を随時見直している。法人内の研修やバックアップ体制も充実しており、ホーム内でも月1回勉強会を実施している。内容については職員の意見や要望を聴いて行っている。職員のチームワークも良く、明るく元気なホームであり、一人ひとりが入居者のことを第一に考えて行動するよう努めている。その中でも特に外出支援については、入居者の楽しみでもあることから現在よりもさらに外出できる機会を増やすことができるよう取り組んでいきたいと考えている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができてい る (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+Enter)です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・あたたかく笑顔がいっぱいのグループホームとはいつも思っています。 ・理念がきちんと掲げてあり、それに向けて実践しています。	ホームの名称である『あじまのいえ』の頭文字を取った理念「あんきに暮らすふれるさとのよう じんわりほんわか陽だまりのよう まごころあふれる優しい瞳 のんびりゆったりいつだって 笑顔がひかる私のおうち」を基に、入居者が安心して楽しく生活を送ることができるよう、職員は笑顔で対応している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・畑にはあじまの家の看板があり散歩やなじみの皆さんと農作業や花の話をさせていただいています。 ・学生の職業体験や実習などを受け入れています。	小学生の職場体験や保育園児との交流が定例化しつつある。高校生(希望者)による職場体験の受入れもしている。ホームの夏祭りや地域むけの認知症勉強会には、地域の方にも声をかけており、参加してもらっている。散歩など外出する時には、近所の方と挨拶を交わしている。	地域の方の来訪があり、交流する機会を持っているが、ホームから町内の行事に出かけたりする機会は少ないことから、参加する側としての取り組みに期待したい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・介護の相談の窓口になっています。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・会議を定期的に行なっています。	2カ月に1回実施している。メンバーには家族のほか、医師やいきいき支援センター職員、地域の方も参加している。ホームの状況や入居者の様子、目標達成計画の進捗状況について報告し、意見やアドバイスをもらっている。現在、ボランティアが少ないことから、ボランティアの増員について話し合うことが多い。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・一職員としては把握していませんが管理者が行なっています。	市主催の講習会には職員が参加している。書類の提出関係等で市を訪問した際には、指導や助言を得ている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・危険度の高い利用者様(転倒)には夜、ベッド柵、又センサーマットを使用しているが、ご家族と話し合い理解していただいたからの使用としています	勉強会を行い身体拘束について職員は学んでいる。転倒の恐れのある人には見守りを重視しつつ、センサーマットを利用してすぐに職員が対応できるようにしている。ベッド柵を使用している方には会議で話し合い、また、家族とも話し合い同意書を交わしている。各ユニットのドアは手動操作にしている。外出する時には職員が開閉を行っている。	ユニットのドアの開閉については、安全を確保しつつ、自由な暮らしを支援できるよう今後の取り組みに期待したい。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・職員が集まるところに虐待があった記事が掲示してあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・対象者がいないため実施していません。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約の際、管理者が行なっています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・月1度の職員会議での職員間の確認 ・家族会を行なっており、ご家族の要望を聞いています。 ・運営推進会議、家族会を開催しているが、参加者が変わらなかったり反映とまではなっていない。	家族会を設けており、家族の参加が多い。家族会学習会では認知症についての勉強等を行っている。家族の来訪時には要望や意見を聴くようにし、また、家族の状況に合わせて電話で連絡を取り意見をうかがっている。毎月、個人毎に便りを作成しており、担当者がコメントを記載している。今回の家族アンケートの結果については、改善できることから検討を進めている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・介護部長の元、常勤会議、職員会議での意見や提案をみんなで出し合うことができている。 ・職員会議前にアンケートを配り全職員の意見を聞いています。	学習委員会や事故・安全委員会等、職員は各委員会に所属している。入居者のケアについては、各ユニットの会議の時に話し合いをしている。会議の前には事前に意見を聴取して内容を検討している。月1回会議の時には、ミニ勉強会を実施しており、議題は担当者が職員の意見を聞いて反映させている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・それぞれが早、遅、日、泊のシフトを現状の人数で頑張っている。また、労働組合活動の中で要求を出していています。 ・常勤は定期昇給が年毎にある。膳パートの時給が10円上がりました。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・学習の委員会があり、定期的に取り組んでいます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・なかなかやれていないのが現状です。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・最初は管理者が行なっています。入所してからはスタッフも本人様の思いを傾聴しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご家族の思いを聞き、関係作りに勤めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・アセスメントの時点で管理者が判断して行なっています。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・共に過ごし、共に支えあうことはいつも頭においており、声掛けもそのことに毎日留意しています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族のお気持ちや願い、そして利用者様とのつながりを大切にし、生活面、行動面を面会時にお伝えしています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・少数ではありますが、近所であった人が面会に来てくださっています。近所への関係は難しい点があります。	入居者と家族との関係を大切にしている。入居後に馴染みになった喫茶店は行きつけの場所となっている。入居前の友人や知人との関係は年々薄くなり支援が難しい状況であるが、手紙を書くなどできることを支援している。また、外出には家族にも協力してもらい取り組んでいる。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・おやつ時の会話や、日常の中でみんなで話します。気の合った人と話すなどできていると思います。職員も孤立がないよう気をつけています。 ・利用者様の座る席なども配慮しています。		
22		関係を断ち切らない仕組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・サービス終了後はほとんど連絡が取れていないのが現状です。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・利用者様もやりたい事や希望を言われることが多く、グループホームの中でできることはやっています。なかなか言い出せない方のケアや思いをもう少し検討していきたい。	入居者がその人らしくホームで過ごしてもらえよう、一人ひとりを知り理解するよう努めている。共同生活であることから、入居者同士の関係にも配慮しつつ、喜怒哀楽を共にすることで支え合っている。編み物が趣味の方には継続してもらえようように支援し、できることをこれからも続けることができるように取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居時に生活暦などの把握に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・生活暦や日頃の本人様を見て、その方にあった一日の過ごし方に努めています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ケアプランに対するモニタリングがもう少し必要です。スタッフ不足で更新も滞っています。	月1回の会議では、3名ほどずつの入居者のケアについて話し合っている。また、入居者の状況に変化が見られた場合には随時会議を行い、ケアについて見直している。介護計画については計画作成担当者を中心に作成から見直しまで行っているが、今後は職員も関わっていく予定である。また、職員がより入居者の状態を把握できるよう、態勢を見直している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・毎日の記録は各スタッフで来ています。見直しに生かしているところまではできていません。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・できるだけその人にあったケアを心がけていますが、グループホームのサービスの枠を出ていないのが現状です。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域のお祭りに以前は参加していました。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・毎月の往診の他にご家族とかかりつけ医に行っていたいでいます。	診療所との連携が密であり、安心の医療、介護、福祉のネットワーク体制ができている。定期的に内科や歯科医の往診や訪問看護師による健康管理が行われ、入居者、家族、職員の安心の基となっている。診療所内に無い科については原則として家族に付き添いをお願いしている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・医療連携で訪問看護の職員が週一回の健康チェックを行なっています。 ・訪問看護、支援診療所で綿密な連携をとっています。 ・転倒時、発熱時など訪問看護に連絡して指示を仰いで対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・サマリーを通しての情報の共有がほとんどですが、ケースによっては病院に出向いたり、電話で相談をしています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・契約時に、グループホームで行なえるケアの限界を説明しています。	重度化した場合や看取りについては、主治医の判断を基本としている。基本的には看取りはしない方針であり、入居時に重度化した場合の対応指針について同意書を書いている。入居者、家族等の意向を踏まえて可能な限り、グループホームでの生活を継続できるよう、看護師や職員と連携して支援している。	看取りについては、本人や家族の希望があり、ホームとしては今後の課題であると考えていることから、実現に向け取り組みに期待したい。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・急変時の対応についてはマニュアルがあり、それに対応ができるようにしています。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・食糧の備蓄をしています。 ・今後も避難訓練は続けていきたいです。	避難訓練は消防署の協力を得て11月に実施している。災害時の具体的な避難策を昼夜通して検討し、いざという時に慌てず、確実な避難誘導ができるようにしている。災害時に備えて3日分の食料、飲料水等が備蓄されている。	災害時における地域との連携については、これからの課題と捉えていることから今後の取り組みに期待したい。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・一人ひとりの人生の重みは充分に考えています。声掛け煮も気をつけています。スタッフ間でも注意、留意しています。	全職員は入居者に接する時の声かけなど、一人ひとりの尊重とプライバシーに配慮しながら行っている。トイレ誘導は他の人に気づかれないように行い、居室に入る時は「失礼します」と声をかけてから入室する等、入居者との人間関係を大切にしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・起床時の更衣で「今日はどの服にしますか、など確認しています。入浴、散歩など希望を尊重しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・健康面や安全性のこともあるので希望通りとは行かないですがおおむね良好です。寝たい時は昼寝をさせていただいたり、本人様のペースで過ごして頂いています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・もってみえる資源の中で利用者様と相談しながら支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全や衛生面に気をつけ、やれる範囲で行なっています。 ・下処理や片付けは一緒に行なっています。準備でももう少し利用者様に参加していただけたらと思っています。 	<p>献立は10日分職員が立て、栄養士に確認してもらっている。材料は業者に配達を依頼している。朝食、昼食は職員がホームで手作りし、夕食は配食業者に依頼している。入居者の誕生日には特別食があり、ケーキも用意される。畑では野菜作りがされ、最近ではサツマイモを収穫し献立に取り入れられた。口腔ケアを大切にしており、毎食後実施している。</p>	
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック表を使い十分に配慮しています。水分量の少ない方が見えたら水分摂取の介助を行なっています。 		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の磨き直しなどを徹底しています。 ・毎食後にどなたでも口腔ケアを行なっています。 		
43	(16)	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間対応や、誘導、声掛けなどその人にあった援助をしています。 	<p>できるだけトイレでの排泄を目標に、職員は入居者の排泄パターンを把握するため、多い方では1時間毎に排泄チェックをしている。トイレ誘導時の声かけもその人に合わせて行っている。運動不足等から便秘になりがちな人には、薬の他、便秘体操を行い効果をあげている。居室にポータブルトイレを置いている入居者もいる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予防、対策はその人にあった援助、工夫をしています。 ・体操を10時・15時に取り組んでいます。 ・果物、野菜を多く摂って頂く様努めています。 		
45	(17)	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのリズムに合わせた入浴介助を心がけています。1対1で会話をゆっくりする場にもなっています。 ・入浴は午後からですが、好きな時間に入れるように努めています。 	<p>入浴は2日に1回が基本であるが、お風呂の好きな方は毎日入浴することも可能である。時間は午後1時～4時となっている。入浴時は職員は入居者と1対1になることから、コミュニケーションの時間として大切にしている。入浴を拒否される入居者には、無理強いせず時間をおいて声をかける等、安心して入浴できるよう支援している。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の入眠時間を大切にして、話をしたり、TVを見ていただいてリラックス他状態体で休んでいただきます。 ・本人様の話を聞いたり、寄り添ったりして、夜間安心して眠れるよう援助しています。 		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダブルチェックを行い、誤薬の無いように勤めています。また、便秘薬などスタッフの間で時々話し合っています。 ・内服薬の一覧がありスタッフ間で共有しています。変更があればその都度申し送りを行なっております。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・レクリエーションは四季を通して楽しみごととして取り組んでいます。外出はご家族の協力を恵って行なっています。 ・洗濯物たたみ等日々の仕事をしていただいています。おやつ時に皆様で会話を楽しんだり歌やレクリエーションで楽しんでいます。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・スタッフの間で話し、判断し、散歩、買い物を行なっています。スタッフが多いときに行なっており、スタッフ不足で利用者様が行きたい時にいけないときがある。	日常的な外出支援については、気分転換やストレス発散の良い機会と捉えている。職員の人員にゆとりのある時には、近くの畑や喫茶店に出かけている。行事での外出は、桜、菖蒲、コスモス等の花見に出かけたりしている。買い物をしたい入居者は、ホーム前にあるスーパーに職員と共に出かけている。	外出を楽しみにしている入居者もいる。職員の態勢に左右されず外出支援に取り組んでいきたいと考えていることから、今後の取り組みに期待される。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・利用者様が「お金は？」などと尋ねられたときなどさっと受け流す会話になっています。 ・お金は管理者で管理しており、基本的に利用者様はお金を所持していません。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・手紙は来ることはあっても返信はできていません。電話対応は希望のある方はいつでも使用しています。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・環境委員会を作りチェックしています。 ・ソファカバーやカーテンなどは経営的なこともあり今までのものを使っていますが、壁飾りは季節感を出しています。 ・常にきれいを心がけ掃除を毎日行なっています。	玄関から階段を上がると、入居者や職員が楽しそうに笑っている写真等が掲示され、入居者の日常の様子がうかがえる。リビングには、皆で協力して作った作品が多く掲示されている。清掃が行き届いており、大きなテレビの前にはソファが置かれ、食後は入居者が歓談したり、雑誌やテレビを観ている。入居者はリビングに集い、居心地の良さがうかがえる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファに座ってゆっくりおしゃべりできる空間がある。 ・共有空間が狭いため一人になれる場所が居室しかありません。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族が用意されたBOXやTVを使用していることが多いので使いやすく慣れ親しむまで入っていませんが、皆様は安心して過ごして見えます。昔の写真や時計、カレンダーなども配慮しています。	居室の入り口には木製の表札があり、のれんが掛けられている。また、自宅から持参したベッドやタンス、テレビ、写真等があり、入居者の使いやすいように配置されている。入居者にとって自宅にいるのと同じような落ち着いた居室になっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・トイレの場所が分かるように表示しています。 ・異食の無いようテーブルに物を置かないようにしています。転倒防止の為、廊下等に不必要なものを置いていません。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2370301315		
法人名	北医療生活協同組合		
事業所名	生協あじまの家グループホーム		
所在地	名古屋市北区中味鏡3丁目807番地		
自己評価作成日	平成23年9月3日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求め ていることをよく聴いており、信頼関係ができてい る (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域 の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足 していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な 支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+Enter)です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「あ」あんきに暮らすさとのよう、「じ」じんわりほんわか陽だまりのよう、「ま」まごころあふれる優しいひとみ、「の」のんびりゆったり、「い」いつだって、「え」笑顔がひかるわたしのおうちが理念です。また、医療生協の「患者の権利章典」を大切にしています。		
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域行事に積極的に参加しています。 ・学生の体験学習などはあるが、日常的ではないです。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・相談は受け付けられるが、地域に対してそういった発信はしてません。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・会議を定期的に行なっています。		
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村などで行なわれている講習会や研修会に参加しよりよい協力関係が持てるよう努めています。		
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会で身体拘束しないケアを学び、実践しています。安全に生活してただけ要るようカンファレンスで話し合っています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	勉強会を持ち、高齢者虐待防止について学びました。常に入居者の立場に立って虐待が見過ごされることが無いよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	対象者がいる・いないにかかわらず研修の機会を持ちたいがまだ実施していません		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には施設の理念や運営方針・金銭面など説明し納得していただけているよう努めています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族会を開催し、ご家族の意見を聞き話し合う機会を設けている。		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職員会議を行ない、意見や提案を聞く機会を設け反映させています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与面では常勤には定期昇給があります。パート職員の昇給は3年に1回です。全職員が労働組合に加入しており、労働条件改善に向けた取り組みを行なっています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・毎月1回職員対象に勉強会を実施し一人ひとりの力量を把握し育てる機会を持っています。 ・通信教育を行なっています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ほとんど行なえていません。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の声に耳を傾け、気持ちを受けとめ、安心して過ごしていただくよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様とご家族との思いの違い、ご家族の体験や思いを理解し耳を傾け関係性を築くよう努力しています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事業所としてできる限りの対応、必要に応じたサービスの利用、初期段階でサービスの場になじみ安心・納得しながら利用できるよう段階的な支援を心がけています。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・職員が教えられることが多く、共に暮らすもの同士としてより深く理解するよう努めています。 ・食事の盛り付け・皿拭きを一緒に行なっています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	くらしを共有するものとして利用者様を理解し、又、ご家族との関わりを理解することによってよい関係を築けるよう日頃から努めています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日頃の話の中から大切にしていた場所や人間関係を知り、その思いを大切に介護に努めています。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・利用者同士が係わり合い、支えあえるような環境を整えています。 ・利用者同士のトラブルが起きないよう気を配り、いじめなど起きないように努力しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後の関係作りはできていません。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人らしさを大切にしています。いかなる時も利用者本位で考えています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の生活歴やこれまでの生活環境を知り、安心して生活していただけた環境を整えています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の暮らしの中から一人ひとりの一日の過ごし方、心理状態などを知り、カンファレンスを通して介護に役立てています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	作成が担当者に偏っているため、チームで作っているとはいえないが、カンファレンスを実施し意見を反映させています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録だけでなく、職員共有ノートやシートを作り、情報を共有しながらチームケアに努めています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・できるだけその人にあったケアを心がけていますが、グループホームのサービスの枠を出ていないのが現状です。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様やご家族の希望を大切に適切な医療を受けられるよう努めています。		
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日の日誌を訪問看護に提出しています。また、定期的に健康チェック、往診を受けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・サマリーを通しての情報の共有がほとんどですが、ケースによっては病院に向いたり、電話で相談をしています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・契約時に、グループホームで行なえるケアの限界を説明しています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・緊急時対応マニュアルがあります。 ・急変・事故の応急手当や初期対応の学習をしました。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を実施しています。夜間想定も行っていきます。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・困っていることがあれば傾聴し解決方法を一緒に考えていきます。 ・トイレ誘導を他の方に気づかれないように行なっています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・自己決定できるような声かけをしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけ希望に添うように心がけて言います。スタッフの体制が少ないときはできない時もあります。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・声かけを行っていますがなかなかできていないのが現状です。 ・月に1度美容師に来てもらい散髪をしてもらっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> 一部の利用者様はできていますが、全員が行なえていません。片付けなどをその人に合ったことをお願いしています。 利用者様が食べ易いように調理を心がけています。 		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じたとはいえませんが、食事、水分共にチェック表を用い介助を行なっています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを促し、1日1回はスタッフが仕上げ磨きを行なっています。		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自分で出来る事は出来るだけやっただき、見守り介助をしています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便の有無をチェックし便秘になりそうなときは工夫しています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	全ての方の希望のそえない事もあるが、その人に合った入浴ペースで入浴していただいています。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 個々の入眠時間を大切にして、話をしたり、TVを見ていただいてリラックス利他状態で休んでいただきます。 本人様の話を聞いたり、寄り添ったりして、夜間安心して眠れるよう援助しています。 		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ダブルチェックを行い誤薬防止に努めています。 すぐに服用している薬が分かるようファイルしてあります。 薬指示表ファイルをすぐみえる場所におきすぐ確認できるようにしています。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・一人ひとりには現状難しいが、数名での支援は努めています。 ・入居者だけでトランプやしりとりをして楽しまれていることもあります。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・本人様が出かけたいといってもその日すぐには出れないときもあるが、希望にそえるよう努めています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・買い物、喫茶店に行った際は、自分で払える方には払っていただいています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話がかけられるようにしてあります		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・環境委員会を作りチェックしています。 ・ソファーカーバーやカーテンなどは経営的なこともあり今までのものを使っていますが、壁飾りは季節感を出しています。 ・常にきれいを心がけ掃除を毎日行なっています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの位置を代えたり席替えをするなど工夫しています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族が用意されたBOXやTVを使用していることが多いので使いやすく慣れ親しむまで入っていませんが、皆様は安心して過ごして見えます。昔の写真や時計、カレンダーなども配慮しています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレなどは看板をつけています。		

(別紙4(2))

事業所名: 生協あじまの家グループホーム

作成日: 2011年12月29日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出の機会が週に1回程度と少なく、利用者様の外出したいという要望に応えきれしていない。	外出の機会を週に2～3回くらいに増やす。	業務改善を行い、日常的に外出できるような体制にする。	6ヶ月
2	26	ケアプランについて、計画作成担当者が作成してはいるが、全体のものになっていない。	各職員がケアプランを意識し、プランにそったケアを実践できる。	利用者様の担当職員を決め、その職員が中心となってモニタリングを行っていくことで、計画作成担当者以外の職員がケアプランに携わる機会を作る。	6ヶ月
3	4	運営推進会議は開催しているが、参加者が少なく、地域住民の参加が無い。	運営推進会議に地域からの参加を募る。地域の方にボランティアに参加していただく。	いきいき支援センターや社会福祉協議会と連携をとり、民生委員や老人会の方と関わりを持つ。地域の方たちのボランティアを募集する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。